

## 2024年度 学科別授業科目一覧表（実務経験表記あり）

課程：工業専門課程

学科：ウェブ・メディア科

NO.	授業科目	学年	授業時間数	単位	必須・選択	講義・実習	実務経験
25	企画実践Ⅰ	2	30	1.5	必修	実習	有
26	企画実践Ⅱ	2	30	1.5	必修	実習	有
27	動画演習Ⅰ	2	60	3	必修	実習	有
28	動画演習Ⅱ	2	60	3	必修	実習	有
29	JavaScriptⅢ	2	30	1.5	必修	実習	有
30	プログラミング演習Ⅱ	2	60	3	必修	実習	有
31	Webプログラミング	2	60	3	必修	実習	無
32	HTML/CSSⅢ	2	60	3	必修	実習	有
33	Webマーケティング	2	30	1.5	必修	実習	有
34	Webサーバー演習	2	60	3	必修	実習	有
35	ウェブ詳論	2	60	3	必修	実習	有
36	前期卒業制作Ⅰ	2	60	3	必修	実習	有
37	前期卒業制作Ⅱ	2	30	1.5	必修	実習	有
38	後期卒業制作Ⅰ	2	60	3	必修	実習	有
39	後期卒業制作Ⅱ	2	60	3	必修	実習	有
40	セキュリティⅡ	2	30	2	必修	講義	有
41	表現技法	2	30	2	必修	講義	無
42	基礎英語	2	30	2	必修	講義	有
43	就職対策Ⅱ	2	30	2	必修	講義	有
44	ビジネスマナー	2	30	2	必修	講義	有
45	プレゼンテーションⅡ	2	30	1.5	必修	実習	有
46	体育実習Ⅱ	2	30	1.5	必修	実習	無

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2024		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	企画実践 I	山田忍	有	1.5 単位 30 時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

ウェブ制作のプロジェクトを企画・実践できるようになる。

## 【講義概要】

ウェブ制作のプロジェクトを遂行するのに必要な企画からデプロイに渡る工程を学ぶ。

回	授業計画及び学習の内容
1	授業ガイダンス ウェブ制作プロジェクトの一連の流れを学ぶ
2	アイデア出しとプロジェクトの企画
3	市場調査と要件定義
4	戦略を考える。ターゲット、競合対策、SNS活用
5	プロトタイプ作成とテスト
6	実践1：プロジェクトの企画書作成
7	実践1：プロジェクトの企画書作成
8	実践1：発表、フィードバック☑
9	実践2：プロジェクトの戦略を考える
10	実践2：プロジェクトの戦略を考える
11	実践2：発表、フィードバック☑
12	実践3：展開方法を考える
13	実践3：展開方法を考える
14	実践3：発表、フィードバック☑
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	40%	0%	40%	20%	0%	100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報／ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事。

## 【教科書・参考文献】

オリジナル教材

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2024		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	企画実践Ⅱ	山田忍	有	1.5単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

卒業・進級制作展示会を成功させる

## 【講義概要】

卒業・進級制作展示会の企画を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	展示会企画立案
2	展示会企画立案
3	展示会企画プレゼンテーション
4	展示会準備
5	展示会準備
6	展示会準備
7	展示会準備
8	展示会準備
9	展示会準備
10	展示会準備
11	展示会準備
12	展示会準備
13	展示会準備
14	展示会準備
15	展示会準備

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	40%	0%	40%	20%	0%	100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報／ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事。

## 【教科書・参考文献】

オリジナル教材

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2024		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	動画演習 I	黒澤 純一	有	3単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

ウェブ広告、YouTube、映画、TV、ゲーム、アニメなど、様々なコンテンツ制作に利用することができる Adobe Premiere Pro、After Effectsの技術習得、及び様々な動画の表現手法を理解して、活用できるようになることを目指す。

## 【講義概要】

動画の表現手法とAdobe After Effects、Premiere Proの機能について解説し、学習した内容を基に課題制作に取り組むことで理解を深める。また、制作した動画をWebサイトに実装する。

回	授業計画及び学習の内容
1	講義概要、動画の仕組みと効果、ウェブでの活用方法について解説 Premiere Pro演習① 作業フォルダ作成・カット編集・書き出しの一連を体験する シーケンス、クリップ、タイムラインなどの主なワークスペースの解説
2	Premiere Pro演習② テロップ、画像合成、サウンド調整・BGMの追加、カラー補正について
3	Premiere Pro演習③ 各種エフェクト項目、キーフレームアニメーションについて、スライドショー作成
4	ウェブ活用① YouTubeへの動画のアップロード、ウェブ用のエンコードや対応形式について、 動画のファイル形式と種類、フレームレート/サイズ(解像度)、コンテナ/コーデックの理解
5	ウェブ活用② YouTube配信について、画面録画・配信ツールOBS Studioについて
6	ウェブ活用③ ウェブページに動画を埋め込む・外部サイト(YouTubeなど)の動画を埋め込む方法、 video / iframeタグの属性、各環境での動画再生の特性について解説
7	前回までの復習を兼ねた課題制作(次回の確認テスト対策)
8	確認テスト・・・①文章問題:基本的な動画に関する知識 ②実技:基本的な動画編集、ウェブページへの動画の埋め込み
9	広告研究① PR動画の制作手法などを学習して「伝わる動画」について理解する
10	広告研究② テーマに沿ったPR動画の制作、動画におけるデザインについて
11	課題制作① 学科説明動画・CM制作
12	課題制作② 続き
13	課題制作③ 完成 観賞/評価会
14	課題 各種コンテストや本校のイベントに関する動画制作①
15	課題 各種コンテストや本校のイベントに関する動画制作②

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	課題レポート	平常点	その他( )	合計
割合	60%		20%	20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

エンタメ・デザイン・映像関連企業にて企画・制作業務に従事

## 【教科書・参考文献】

講義内容に沿ったテキストの配布

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2024		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	動画演習Ⅱ		黒澤 純一	有	3単位 60時間	

## 【授業の到達目標及びテーマ】

ウェブ広告、YouTube、映画、TV、ゲーム、アニメなど、様々なコンテンツ制作に利用することができるAdobe Premiere Pro、After Effectsの技術習得、及び様々な動画の表現手法を理解して、活用できるようになることを目指す。

## 【講義概要】

動画の表現手法とAdobe After Effects、Premiere Proの機能について解説し、学習した内容を基に課題制作に取り組むことで理解を深める。また、制作した動画をWebサイトに実装する。

回	授業計画及び学習の内容
1	本講義の概要説明、前期振り返り、コンテスト作品制作① 応募概要の説明・企画書制作
2	コンテスト作品制作② 制作・修正・ブラッシュアップ
3	コンテスト作品制作③ 作品完成・応募
4	After Effects演習 キーフレームアニメーションの応用、モーショングラフィックス
5	After Effects演習 ロゴ・タイトルアニメーションの制作、Illustratorとの連携について
6	After Effects演習 続き 作品制作
7	After Effects演習 続き 完成
8	ウェブ活用① CSSアニメーションとJavaScriptでの制御
9	ウェブ活用② 続き
10	ウェブ活用③ アニメーションのWebpの書き出し、Lottieアニメーションの制作と実装
11	ウェブ活用④ 続き
12	課題 展示会ロゴアニメーションの制作①
13	課題 展示会ロゴアニメーションの制作② 完成、コンパ
14	課題 各種コンテストや本校のイベントに関する動画制作①
15	課題 各種コンテストや本校のイベントに関する動画制作②

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	課題レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%		20%	20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

エンタメ・デザイン・映像関連企業にて企画・制作業務に従事

## 【教科書・参考文献】

講義内容に沿ったテキストの配布

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	ウェブ・メディア科	2024	2年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	JavaScriptⅢ	山田忍	有	1.5単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

フレームワーク、ライブラリの導入方法から学び、最終的にはウェブアプリケーションを制作できるようになる。

## 【講義概要】

Webサイトやウェブアプリケーションを作成しながらJavaScriptフレームワーク、ライブラリを学ぶ

回	授業計画及び学習の内容
1	環境構築、JSXの基本
2	コンポーネント開発 Props/State
3	コンポーネント開発 基本
4	コンポーネント開発 フォーム
5	コンポーネント開発 応用
6	コンポーネント開発 応用
7	Reactライブラリの活用
8	小テスト
9	フックの活用
10	フックの活用
11	ルーティング
12	テスト
13	Next.jsの活用
14	総合演習課題
15	総合演習課題

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	40%	40%	0%	20%	0%	100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報/ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事。

## 【教科書・参考文献】

これからはじめるReact実践入門

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	ウェブ・メディア科	2024	2年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	プログラミング演習Ⅱ	高橋 義博	有	3単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

Pythonの目的や役割をしっかりと理解したうえで、他のプログラミング言語との違いも含めて、Pythonの基本を学習する。WebAPIの活用やスクリプティングなど幅広くPythonの仕組みを理解する。

## 【講義概要】

プログラミング用のエディタの基本的な使い方についても習得する。Pythonの基礎から簡易的なWebシステム開発についても学習する。理解度を図るためのテストを実施する。夏季休暇中に課題レポートをおこなう。毎回、教科書をベースに説明するため教科書は必携すること。(貸出不可)

## 授業計画及び学習の内容

1	Python基礎：Pythonの開発環境づくり，Pythonシェルを使った簡単な操作
2	Python基礎：前回の課題解説，モジュールについて，calender，date，math
3	Python基礎：リストについて，タプルについて，条件分岐，三項演算子，論理演算子
4	Python基礎：内包表記，if構文を含む内包表記，forの練習問題
5	Python基礎：辞書、集合、文字列操作、スライス、関数。復習テスト
6	Matplotlibによるグラフ化
7	小テスト
8	RequestsモジュールによるWebAPI取得
9	Webスクレイピングについて。Beautiful SoupでHTMLの解析
10	課題：スクレイピングでニュース一覧、英単語一覧の作成
11	Seleniumによるブラウザ操作とスクレイピング、Webフレームワークについて
12	PythonでじゃんけんWebアプリ制作
13	課題：PythonでじゃんけんWebアプリ制作、DBについて
14	課題レポート
15	課題レポート

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%		20%	20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

高橋：15年以上、Webデザイナー・Webプログラマーとして幅広いWebシステム開発、Webサイト制作に従事。また、複数の専門学校等でWebデザイン講師に従事。

## 【教科書・参考文献】

Python ゼロからはじめるプログラミング、三谷純（著）、翔泳社

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	ウェブ・メディア科	2024	2年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	Webプログラミング	国井 和昭	無	3単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

ウェブサイトのバックエンドで広く利用されているPHP (Hypertext Preprocessor) を利用したWEBアプリケーション構築技術を学び、DB (SQLiteやMaria DB) の種類や連携、メール送信技術を身に付ける。  
また、JavaScriptとなどの他言語とのプログラムの違いを理解する。(ローカル・サーバーサイドの違い)

## 【講義概要】

技術的な理解にとどまらず、実際にアプリケーションを構築する上でのサーバーサイドの役割を正しく把握する。

回	授業計画及び学習の内容
1	教科ガイダンス。他言語との違いやバージョンについて。MAMPインストール。FormタグとPHPの基礎。
2	DBMSとRDBMSに関して。変数と配列のおさらい。ユーザ情報 (IPアドレス) の取得。
3	DBとの連携。SQL文の基本「SELECT、INSERT、UPDATE、DELETE」入力フォームおさらい。
4	セッションとクッキー。セキュリティー対策、XSS (クロスサイトスプリクティング) 対策
5	PHPによるログイン認証ページの作成1
6	PHPによるログイン認証ページの作成2
7	入退場システム構築1 (SQLite) ・全体の流れを理解する。(QRコード生成プログラムなど)
8	入退場システム構築2 (SQLite) ・メール自動送信
9	入退場システム構築3 (SQLite) ・来場記録登録
10	ランキングシステムの構築1 (Maria DB)
11	ランキングシステムの構築2 (Maria DB)
12	WordPress演習1 インストール
13	WordPress演習2 デザイン変更
14	総合演習 自由課題制作1 (SQLite)
15	総合演習 自由課題制作2 (SQLite)

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	30%			70%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

実務経験なし

## 【教科書・参考文献】

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2024		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	HTML/CSSⅢ		山田忍	有	3単位 60時間	

## 【授業の到達目標及びテーマ】

クライアントからの要望、仕様書に沿ったウェブサイトのコーディングができるようになる。  
サイト制作にあたって様々なツールも使いこなせるようになる。

## 【講義概要】

ルールに則ったHTMLとCSSの書き方を学ぶ。各回では課題制作を提出すること。全国大会へ向けた対策も本科目で実施する。

回	授業計画及び学習の内容
1	デザインデータからコーディング（レスポンシブ）
2	デザインデータからコーディング（レスポンシブ）
3	様々なレイアウトを学ぶ
4	CSSの設計方法
5	仕様書からサイト制作
6	仕様書からサイト制作
7	仕様書からサイト制作
8	仕様書からサイト制作
9	仕様書からサイト制作
10	アクセシビリティを意識したコーディング
11	SEOを意識したコーディング
12	クライアントからの要望をサイト制作に反映させる
13	クライアントからの要望をサイト制作に反映させる
14	総合演習課題
15	総合演習課題

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%	20%	0%	20%	0%	100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報／ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事。

## 【教科書・参考文献】

オリジナル教材

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	ウェブ・メディア科	2024	2年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	Webマーケティング	榎本博文	有	1.5 単位 30 時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

ウェブマーケティングの基本的な概念や手法を理解し、実践的なスキルを身につけることを目指す。

## 【講義概要】

1年時に学んだウェブリテラシー元にウェブマーケティングに関する情報を収集、処理し活用する。Google アナリティクス認定資格合格を目指し実践的な課題を通して学習を進めて行く。

回	授業計画及び学習の内容
1	ウェブマーケティングに関する基本的な用語について。マーケティングの基本理念を理解する。
2	SEO対策やリスティング広告の運用、アクセス解析及びPDCAサイクルの改善 ブランド構築のプロセスに関して
3	社会経済的な変化と消費生活の変化について。顧客ニーズを探るための市場調査・分析など
4	Webマーケティングに必要なアクセス解析と有効なツール
5	Google Analyticsの設定方法と利用に関して。
6	Google アナリティクス認定資格に関して。その1
7	Google アナリティクス認定資格に関して。その2
8	主要なソーシャルメディアプラットフォームの活用法
9	Webマーケターの仕事に関して。マーケティング職に向いている人の特徴など。
10	情報収集能力を高めるには。コンテンツの効果測定について。
11	魅力的なコンテンツの作成、ブログ記事、動画、インフォグラフィックスなどの種類。
12	グループでウェブマーケティング戦略の提案 その1
13	成果発表とフィードバック
14	グループでウェブマーケティング戦略の提案 その2
15	成果発表とフィードバック

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	課題レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	50%		20%	30%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

ウェブ制作会社・代理店などでウェブデザイナー、プロジェクトマネージャーなど業務に従事。

## 【教科書・参考文献】

Google アナリティクス アカデミー (Google公式サイト) など

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	ウェブ・メディア科	2024	2年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	Webサーバー演習	榎本博文	有	3単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

セキュアなウェブサイトやアプリケーションを構築するための基礎的なスキルを身につけるための実践的なコースです。Webサーバーの設計、構築、および運用に関する理解を深め、セキュリティ対策やパフォーマンスの最適化なども学びます。

## 【講義概要】

Webサーバーの基本的な原則を理解する。ApacheやNginxなどの主要なWebサーバーソフトウェアの種類など。セキュリティ対策、パフォーマンス最適化と負荷分散の手法を習得する

回	授業計画及び学習の内容
1	Webサーバーの役割と基本的な動作原理
2	HTTPプロトコルとリクエスト-レスポンスサイクル。クライアントとサーバーの相互作用の理解。
3	Apacheの基本的な設定とインストール。モジュールの追加と設定。
4	Nginxの基本的な設定とインストール。
5	Webサーバーのセキュリティベストプラクティス。
6	セキュリティ証明書の取得と更新。
7	キャッシュの利用と最適化。
8	ロードバランサーの導入と設定。
9	パフォーマンスモニタリングとトラブルシューティング。
10	Webマーケティングに必要なアクセス解析と有効なツール
11	3大クラウドサービスAWS・GCP・Azureについて
12	クラウドサービスとは
13	Google Analyticsの設定方法と利用に関して。
14	Google アナリティクス認定資格に関して。 その1
15	Google アナリティクス認定資格に関して。 その2

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	課題レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	50%		20%	30%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

ウェブ制作会社・代理店などでウェブデザイナー、プロジェクトマネージャーなど業務に従事。

## 【教科書・参考文献】

Google アナリティクス アカデミー (Google公式サイト) など

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	ウェブ・メディア科	2024	2年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	ウェブ詳論	榎本博文	有	3単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

溢れる情報の中から「本質」を見抜くためには基本的なIT知識は勿論、幅広い知識や経験が重要となる。最新のWeb技術を題材にインターネットマーケティングなどを学ぶ。

## 【講義概要】

最新のWeb技術やデザインの方向性、セキュリティ、アクセシビリティ、およびビジネス戦略に焦点を当て、Web技術やトレンド、および将来の発展について理解を深めます。

回	授業計画及び学習の内容
1	講義説明。最新のWeb技術とトレンドの概要。Webマーケティングの全体像など。
2	ウェブサイトのユーザビリティ向上のためのデザイン原則。情報アーキテクチャ設計、効果検証と指標など。
3	SEO、LP0について、情報の共有、ネットビジネス、セキュリティ対策。
4	インターネットの進化および寡占や分断に対する懸念点について
5	ウェブプロジェクトの計画と実施におけるビジネス戦略
6	クライアントとのコミュニケーションとプロジェクトマネジメント
7	ROI（投資対効果）を最大化するためのウェブ戦略
8	グループディスカッション：トピックの深掘りと議論
9	課題の講評、プレゼンテーション発表
10	インターネットの今後について①
11	課題の講評、プレゼンテーション発表①
12	インターネットの今後について②
13	課題の講評、プレゼンテーション発表②
14	インターネットの今後について③
15	課題の講評、プレゼンテーション発表③

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	課題レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	50%		20%	30%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

ウェブ制作会社・代理店などでウェブデザイナー、プロジェクトマネージャーなど業務に従事。

## 【教科書・参考文献】

配布資料など

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	ウェブ・メディア科	2024	2年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	前期卒業制作 I	山田忍	有	3単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

東京電子卒業までにおける集大成となる制作を行う。

## 【講義概要】

企画立案においては「調査」から「評価」、提案までを実践的に行うことで実際の業務に近い制作体形を学ぶ。

回	授業計画及び学習の内容
1	オリエンテーション
2	企画立案
3	企画プレゼン
4	制作、レビュー
5	制作、レビュー
6	制作、レビュー
7	制作、レビュー
8	中間プレゼン
9	制作、レビュー
10	制作、レビュー
11	制作、レビュー
12	制作、レビュー
13	制作、レビュー
14	テスト
15	完成プレゼン

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%	0%	20%	20%	0%	100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報／ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事。

## 【教科書・参考文献】

オリジナル教材

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2024		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	前期卒業制作Ⅱ		山田忍	有	1.5単位 30時間	

## 【授業の到達目標及びテーマ】

東京電子卒業までにおける集大成となる制作を行う。

## 【講義概要】

企画立案においては「調査」から「評価」、提案までを実践的に行うことで実際の業務に近い制作体形を学ぶ。

回	授業計画及び学習の内容
1	オリエンテーション
2	企画立案
3	企画プレゼン
4	制作、レビュー
5	制作、レビュー
6	制作、レビュー
7	制作、レビュー
8	中間プレゼン
9	制作、レビュー
10	制作、レビュー
11	制作、レビュー
12	制作、レビュー
13	制作、レビュー
14	テスト
15	完成プレゼン

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%	0%	20%	20%	0%	100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報／ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事。

## 【教科書・参考文献】

オリジナル教材

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	ウェブ・メディア科	2024	2年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	後期卒業制作 I	山田忍	有	3単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

東京電子卒業までにおける集大成となる制作を行う。

## 【講義概要】

企画立案においては「調査」から「評価」、提案までを実践的に行うことで実際の業務に近い制作体形を学ぶ。

回	授業計画及び学習の内容
1	オリエンテーション
2	企画立案
3	企画プレゼン
4	制作、レビュー
5	制作、レビュー
6	制作、レビュー
7	制作、レビュー
8	中間プレゼン
9	制作、レビュー
10	制作、レビュー
11	制作、レビュー
12	制作、レビュー
13	制作、レビュー
14	テスト
15	完成プレゼン

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%	0%	20%	20%	0%	100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報／ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事。

## 【教科書・参考文献】

オリジナル教材

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	ウェブ・メディア科	2024	2年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	後期卒業制作Ⅱ	山田忍	有	3単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

東京電子卒業までにおける集大成となる制作を行う。

## 【講義概要】

企画立案においては「調査」から「評価」、提案までを実践的に行うことで実際の業務に近い制作体形を学ぶ。

回	授業計画及び学習の内容
1	オリエンテーション
2	企画立案
3	企画プレゼン
4	制作、レビュー
5	制作、レビュー
6	制作、レビュー
7	制作、レビュー
8	中間プレゼン
9	制作、レビュー
10	制作、レビュー
11	制作、レビュー
12	制作、レビュー
13	制作、レビュー
14	テスト
15	完成プレゼン

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%	0%	20%	20%	0%	100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報／ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事。

## 【教科書・参考文献】

オリジナル教材

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	ウェブ・メディア科	2024	2年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	セキュリティⅡ	久良知 眞紀子	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

情報セキュリティマネジメント試験の午前・午後問題分野について、要点確認と問題演習を行う。

## 【講義概要】

教科書の単元に沿って解説する。毎回、授業の最後に、その日の授業の範囲から出題した小テストを行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	情報セキュリティ全般：単元01 情報セキュリティ
2	情報セキュリティ全般：単元02 マルウェア、単元03 パスワードの不正入手/不正利用、
3	情報セキュリティ全般：単元04 Webサイト利用者への攻撃、単元05 サービスの妨害/悪用、
4	情報セキュリティ全般：単元06 人的脅威、単元07 物理的脅威/その他の脅威、
5	情報セキュリティ全般：単元08 暗号化技術、単元09 認証技術
6	情報セキュリティ全般：単元10 デジタル署名
7	中間試験
8	情報セキュリティ対策：単元11 マルウェア対策、単元12 不正アクセス対策
9	情報セキュリティ対策：単元13ネットワークセキュリティ、単元14情報漏えい対策
10	情報セキュリティ対策：単元15その他のセキュリティ対策
11	情報セキュリティ管理：単元16 情報セキュリティマネジメント、単元17 ISMS
12	情報セキュリティ管理：単元18 リスクマネジメント、単元19 情報セキュリティインシデント管理
13	情報セキュリティ関連法規：単元20 情報セキュリティ関連法規
14	総合問題
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

① 銀行でシステム開発 (2年) ②ソフトウェア開発会社でシステム開発 (2年) ③起業し、システム開発、教育、翻訳、テクニカルライティング (20年)

## 【教科書・参考文献】

情報セキュマネ試験 要点&問題集 (インフォテックサーブ)

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2024		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	表現技法	唐戸 民雄	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

前半では日本語についての再確認をする。些細なことでもかまわないので、自分たちの言葉についての意識を持って欲しい。後半は、社会人として仕事していく上での基本、ビジネス文書について学ぶ。

## 【講義概要】

普段使っている日本語を見直す。また、ビジネスの現場での文書の意義、働き、流れ等を確認する。社会人としての基本を身につける。毎回、日本語の語彙に関する確認の小テストを行う。その他、適宜、講義内容に関連する新たな話題を紹介することもある。大きくシラバスから逸脱することはないが、内容が少し変わることもある。

回	授業計画及び学習の内容
1	表現とは何か
2	表現本能 表現行為 言語について
3	日本語について1 他言語との比較 日本語の特徴 語彙の面から①
4	日本語の特徴 語彙の面から② 表記の面から など
5	日本語の文体 音声言語と文字言語の相違
6	文章の構成 横書き原稿用紙の使い方
7	読点の付け方 中間試験対策
8	中間試験
9	ビジネス文書 概説 問題演習
10	ビジネス文書 社内文書① 問題演習
11	ビジネス文書 社内文書② 問題演習
12	ビジネス文書 社外文書① 問題演習
13	ビジネス文書 社外文書② 問題演習
14	ビジネス文書 まとめ 確認演習問題
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	10%		10%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

四半世紀にわたり、東京電子専門学校において、表現技法、一般常識を担当してきました。また、他の専門学校で論文作成を、都の職業訓練校でビジネス関係の科目を教えてきました。

## 【教科書・参考文献】

授業時にプリントを配布する。

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	ウェブ・メディア科	2024	2年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	基礎英語	酒井 智子	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

既習の文法事項の定着をはかりつつ、更に実用的な英語の四技能（読・書・聞・話）の基礎力・応用力を養う。将来の職場において、身近にある既存のツールを用いての必要最低限以上の対応力を養うことを目標とする。

## 【講義概要】

各回とも、精選した重要な文法事項を理解し、用法のマスターを目指す。身近で興味深い題材を用い楽しみながら語彙を増やして即戦力となる基盤を築きたい。積極的な取り組みによる成果を得ることで日常の努力が報われる成功体験を得てもらう。

回	授業計画及び学習の内容
1	オリエンテーション、5文型8品詞
2	自動詞・他動詞、There is ~構文
3	不定詞の名詞的用法、It is ~to (do)構文
4	動名詞
5	不定詞の形容詞・副詞的用法
6	受動態
7	中間試験
8	分詞の形容詞的用法、長文読解 "The Steve Jobs Story"
9	接続詞（等位接続詞）
10	接続詞（従属接続詞）①
11	接続詞（従属接続詞）②
12	関係代名詞①
13	関係代名詞②
14	関係副詞
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	90%	3%	5%	2%		100%

（補足）

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

高校教師（4年）、外資系企業の秘書（5年）、医療系大学で薬学部非常勤講師の経験（2年半）あり。  
取得資格：英検1級、全国通訳案内士、医療通訳士技能検定2級（日本医療通訳協会）

## 【教科書・参考文献】

【参考文献】The Steve Jobs Story（IBCパブリッシング）

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2024		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	就職対策Ⅱ	石井眞木子	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

就職活動の流れからソフトウェア業界の説明・会社訪問・採用試験などについてキャリアコンサルタントの視点から解説し、来年度の就活がスムーズに行えるように履歴書、自己PR、採用面接の準備を行う。

## 【講義概要】

就職対策Ⅰで行った自己分析をもとに、より自己理解を深め履歴書・ESを作成する。さらに、面説練習、様々なロールプレイングによってビジネスマナーを体験しスムーズに就職活動をするための基礎力を養う。

回	授業計画及び学習の内容
1	就職対策Ⅱの講義についての説明、就活のスケジュールについての復習、履歴書の見直しを行う
2	履歴書を見直す 「PREP法」を正しく理解する
3	自己PRを記述し、グループワークによってお互いに自己PRを深める
4	学生時代に頑張ったことを記述し、グループワークによってお互いに自己PRを深める
5	採用試験（筆記・グループディスカッション・面接など）の説明。敬語、ビジネスマナーを理解する
6	採用試験の筆記試験について模擬試験問題を体験し、自分の得意不得意を理解する
7	中間試験
8	採用試験のWeb試験（CAB、GAB）について模擬試験問題を体験し、自分の得意不得意を理解する
9	採用試験の面接試験についての説明と面接試験のロールプレイングの準備を行う
10	面接試験のロールプレイング その1
11	面接試験のロールプレイング その2
12	企業求人理解 その1. 企業の求人票を確認する
13	企業求人理解 その2. 会社の特性の見方と自分に合った会社選びの基準を理解する
14	内定、試用期間と懲戒についての説明と内定後のスケジュール等を理解する
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%		10%	10%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

担任業務の学生の生活指導、就職支援のために研鑽を積み産業カウンセラー、国家資格のキャリアコンサルタントの資格を取得し、学生のキャリア支援に勤しむ。

## 【教科書・参考文献】

就職筆記試験 対策問題集 一般常識・SPI編

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2024		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	ビジネスマナー	今村 朋子	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

就職活動に役立ち、且つ社会人としても通用するビジネスマナーを身につける。  
併せて良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法、日常生活での基本的なマナーの見直しを行う。

## 【講義概要】

授業は講義と参加型の実習を取り入れ、主体的に発信する力を伸ばし、共感的に受信する力を広げることを目標とする。

回	授業計画及び学習の内容
1	なぜ「ビジネスマナー」が必要なのか 今後の就職活動を踏まえ、社会人となる自己認識を高める 返事と挨拶、礼節としての「お辞儀」 学生と社会人の違い 守秘義務 コンプライアンス
2	「身だしなみ」について 第一印象の形成、重要性 初対面での注意点
3	ビジネスマナーの基本 「人間関係」の大切さ 的確な報告、連絡、相談の方法
4	コミュニケーションの重要性 「聞くこと」「話すこと」の正しい姿勢、「よい話し方」の基本
5	敬語① 正確な敬語を使いこなす T. P. Oに合わせた言葉遣い
6	敬語② 接遇用語・接遇のマナー 「ホスピタリティ」と「サービス」
7	中間試験
8	電話の応対① 電話応対の注意点 「受け方」の基本 苦情電話、間違い電話などへの対応
9	電話の応対② 電話応対の注意点 「掛け方」の基本 伝言メモの作成
10	問のマナー 名刺の取り扱いかた 名刺交換の手順 紹介の仕方
11	応接のマナー お茶の出し方 席次のルール 応接室、車、乗り物の席次
12	交際のマナー① 慶事・弔事における決まりごと パーティでのマナー
13	交際のマナー② お中元、お歳暮 賀寿、お礼状など 交際のルール
14	総復習 「仕事の穴」に落ちないために 「人としての魅力」で、仕事の結果につなげよう
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足)  
 ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。  
 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。  
 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

都内専門学校勤務を経て、大手メーカー研修事業部、大学・短大オープンカレッジ、男女共同参画センター等でビジネスマナー、秘書検定講師を務める。著作：「わかる! 秘書検定 2級・3級 テキスト&問題集」日本経済新聞出版社

## 【教科書・参考文献】

「社会でいきる 実践ビジネスマナー」

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2024		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	実習	プレゼンテーションⅡ	黒澤くみこ	有	1.5単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

- 社会人としての総合力が問われる「プレゼンテーション」を学ぶことにより、社会人としての総合力を身に付ける
- 社会人として活動することへの意識を高め、組織の中で求められるコミュニケーション力の習得
- 社会人基礎力（前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力）を身に付ける
- それらを就職活動に活かす

## 【講義概要】

社会人として求められる力について理解した上で、それを行動に移せるような「知識」と「スキル」と身に付けていただきます。講義と実習、グループワークを通じて社会人になるための準備し、それを通じて成長していただきます。

回	授業計画及び学習の内容
1	後期授業のガイダンス、スピーチ（後期授業に向けての抱負30秒スピーチ）自己チェック「自分を知る」
2	スピーチ「自己紹介」準備、自己紹介&相互コメント
3	スピーチ「自己PR」準備、
4	スピーチ「自己PR」発表①
5	スピーチ「自己PR」発表②
6	<実習>綺麗な声と感じの良い話し方
7	ビジネスコミュニケーションケーススタディ スピーチ
8	仕事の進め方とマネジメントサイクル「PDCA」～卒業制作展示会をテーマにグループワーク～①
9	仕事の進め方とマネジメントサイクル「PDCA」～卒業制作展示会をテーマにグループワーク～②
10	対人影響力（リーダーシップ、フォロワーシップ） 強力なフォロワーとしてスタートする スピーチ
11	対人影響力と後輩指導（1年生との関わり方を事例としてのケーススタディ） スピーチ
12	グループワーク「コンセンサスの取り付け」
13	まとめ
14	まとめ
15	試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%		10%	30%		100%

（補足）

- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

1988年、有限会社シービー設立  
 35年間に亘り企業における人材育成（コミュニケーションに重点を置いた研修）に携わる  
 1989年より東京電子専門学校にて、情報系の授業を担当（ビジネスマナー、表現技法、プレゼンテーション、）  
 著書「営業マンはお辞儀をするな」

## 【教科書・参考文献】

講義内容に沿ったプリントの配布

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2024		2年 通年	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	実習	体育実習Ⅱ		ウェブメディア科 担当教員	無	1.5 単位 30 時間	

## 【授業の到達目標及びテーマ】

学園祭を通して、健全な身体と精神を育む。  
学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。  
心身の健全な育成を目指しています。

## 【講義概要】

この授業は学園祭（準備2日間、学園祭2日間）の参加を以て、評価します。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	学園祭準備（1日目、2日目）
3	
4	
5	学園祭（1日目）
6	
7	
8	学園祭（2日目）、後片づけ
9	
10	
11	-
12	
13	
14	-
15	

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合					100%	100%

（補足）  
・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。  
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。  
・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

-
---

## 【教科書・参考文献】

-
---